

日本人口学会 2022 年度第 1 回東日本地域部会プログラムと報告概要

日時：2022 年 10 月 1 日（土） 13 時 30 分～17 時 30 分

会場：札幌市立大学サテライトキャンパス (<http://www.scu.ac.jp/campus/satellite/>)

〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 5 丁目アスティ 45 ビル 12 階 Tel 011-218-7500

または Zoom によるオンライン配信

プログラムと報告概要

13:30 - 13:50 ○久井 情在 (国立社会保障・人口問題研究所) 「市町村合併は人口移動を促したか—国勢調査人口移動集計を用いた旧市町村間移動量の推計—」

市町村合併は、役所・役場が廃止される地域から役所・役場の統合先地域への人口移動を引き起こすと言われている。本報告では、合併前の国勢調査人口移動集計を用いて合併後の旧市町村間移動量を推計するモデルを提案し、上記仮説の検証を行う。

13:50 - 14:10 ○鎌田健司,小池司朗,菅桂太 (国立社会保障・人口問題研究所),山内昌和 (早稲田大学) 「都道府県別にみた人口増加率の要因分解：1950-2015 年 (2)年齢別人口の分析結果」

1950 年から 2015 年までの都道府県別の年齢別人口の人口増加率を、年齢構造要因、出生要因、死亡要因、移動要因の 4 要因に分解し、地域人口変化における年齢構造および人口動態率の影響について分析することを目的とする。本分析では年齢別人口の変化に対する各要因の寄与度の分析結果を報告する。なお、分析は、1950-2015 年までの全期間と、人口増加率が概ね線形変化を仮定することができる 5 期間に分けて分析する。

14:10 - 14:30 ○菅桂太, 小池司朗, 鎌田健司 (国立社会保障・人口問題研究所) 「2000 年代以後の地域別月別人口動態の趨勢」

人口動態統計の出生数と死亡数並びに住民基本台帳人口移動報告による都道府県間転入数と転出数について、2000 年代以後の月別変動のパターンを地域別に観察し、新型コロナウイルスの流行が始まった 2020 年以後に趨勢の変化があったのか否か検証することを目的とする。いずれの動態件数についても月別系列には季節性があるため、たとえば 2020 年 4 月の緊急事態宣言の発出がこれら系列に及ぼした影響を測ることが難しい。センサス局法 (X-13) を用いた季節調整を行った上での趨勢の変化について論じる。

14:30 - 14:50 ○草野邦明 (群馬大学情報学部) 「東京都区部における潜在的限界集落地区の抽出」

本発表では、平成 27 年国勢調査 8 分の 1 地域メッシュ統計データを用いて、東京都区部における限界集落に準ずる地区と将来人口推計から潜在的限界集落に準ずる地区の抽出を行う。さらに、それらの地区の特徴についても明らかにする。

休憩 14:50 - 15:00

15:00 - 15:20 ○松本雄大 (法政大学) 「未婚率に関するベイズ型 Age-Period-Cohort 分析—年齢と時代の交互作用効果モデルを用いた非婚化と晩婚化の分離—」

未婚率の変化から非婚化と晩婚化を要因分解するならば、年齢・時代・コーホートの 3 効果に年齢と時代の交互作用効果を加えて検討しなければならない。この場合に生じる識別問題の対処として主効果はランダムウォーク、交互作用効果は 3 要因との直交化や特殊な時系列構造が仮定されたベイズモデルを考える。未婚率の集計データ (1980 年から 2020 年までの国勢調査) を用いて、性別ごとに分析した結果を論じる。

15:20 - 15:40 ○松浦 司 (中央大学) 「Gender Difference in the Effect of Having Never Married on SWB」

We explore the gender difference of the effect of having never married on certain key aspects of subjective well-being (SWB). The methods we use is ordered probit with clustered robust standard error using data from the European Values Survey and the World Values Survey. We show the following results. The negative effect of never-married men compared to never-married women on SWB increases with age. While there is no gender difference in the effect of never-married on life satisfaction before 60 years of age, among those aged 60 years and above, men feel more unsatisfied with life by never having married than women. Second, in countries with a GDP per capita of \$30,000 and more, the negative effect of never-married on SWB is greater in men than in women aged 40 years and above. Third, after 2010, the negative effect of never married in men is observed only for individuals aged 60 years and above in countries with a GDP per capita of \$30,000 and above.

15:40 - 16:00 ○小島 宏 (早稲田大学) 「英国ムスリム男女におけるコロナ・ワクチン接種躊躇の関連要因」

本報告では 2021 年に英国で実施したウェブ調査 “Survey on Islamic Practices during COVID-19 Pandemic” の個票データ (n=328) を用いたロジット分析により、18-39 歳のムスリム男女におけるワクチン接種躊躇 (vaccine hesitancy) の関連要因を示すことを試みる。

16:00 - 16:20 ○清水 昌人 (国立社会保障・人口問題研究所) 「東京圏の転入超過とコロナ禍」

最近の統計の観察によれば、2020 年以降のコロナウィルスの蔓延は東京圏の転入超過を大きく減少させたと言われる。しかし、より長期的な視点から見た場合、人口移動と社会経済の関連のなかでコロナ禍の影響をどう捉えるべきかはいまだ明確になっていない。本研究では主に 2010 年代からコロナ禍までの社会経済的、人口学的変数の推移を整理し、東京圏の転入超過とそれらの要素との関係を観察する。

休憩 16:20 - 16:30

16:30 - 16:50 ○吉次翼（東京大学）、丸山洋平（札幌市立大学）「基礎自治体の行政計画における人口指標の設定・測定実態」

近年、行政計画に目標指標（数値目標）を設定し、計画の進捗管理や事後評価に活用する動きが広がっている。その最も代表的・基礎的な指標となるのが人口である。人口減少下において、説得力のある人口指標を設定・測定することは容易ではないと考えられるが、その実態はあまり明らかにされてない。そこで本研究では、北海道内の中心市街地活性化基本計画を対象として、人口指標の設定・測定実態について実証分析を行う。

16:50 - 17:10 ○セドリック・フォンテーヌ（Cedric Fontaine）「子供は高くなってきた、日本の少子化の原因としてのサービス業における子どもにかかるコストの上昇」

日本の産業構造における第三次産業へのシフトは、日本の少子化の主要な原因である可能性が高い。先行研究とは異なり本研究では、日本の福祉国家の段階的な廃止が、問題を解決するよりも寧ろ問題を激化させる可能性があることを発見した。

17:10 - 17:30 ○可部繁三郎（日本経済新聞社）「高齢社会における労働力不足への対応：日本の教訓」

高齢化が進むアジアにおいて日本は先頭を走っており、将来の労働力不足にどう対応するかが問われている。対応策としては、主に①高齢者の雇用増②女性の労働力率の向上③労働市場の対外開放といった労働力の量の確保と、④労働者の生産性の向上という労働力の質の向上が挙げられる。それぞれについて日本では取り組みがされているが、多様な属性の労働者を少しずつ増やすことで全体量を確保し、あわよくば生産性も上げようという未経験の道を進むしかないため、課題も多い。4つの対応策の課題を検討すると、共通して見いだされるのは1) 短期的な特効策は期待できない、2) 長期的に体系的な取り組みをしないといずれの対応策も効果が見込めない—ということである。これから日本の後を追って高齢化が進む見通しのアジア諸国に対して、教訓となるメッセージといえる。

* 報告時間は質疑応答を含めて、1件の報告について20分といたします。

* 報告者の方で配布資料がある場合は、20部ほどご持参下さい。